

第402回東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成23年7月15日(木) 10:00～11:00

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>古田元夫 <委員>久保文明、大江和彦、高田毅士、寺島一郎、本間正義、谷本雅之(代)、鍛冶哲郎、根本 彰、齋藤 毅(代)、月橋文孝、今井 浩、橋元良明、山梨裕司、岩崎貴哉(代)、池本幸生、中村圭介、工藤一秋(代)、保谷 徹、坂東優篤(代)、川崎雅裕、金道浩一、安田一郎、玉井克哉

※(代)は代理出席者

<オブザーバー>木村秀雄、河野重行、中川裕志(代)、堀 浩一、小林真理

欠席者 月本雅幸、村田茂穂

列席者 田中成直、木村 優、高橋 努、北村照夫、風巻利夫、茂出木理子、増田晃一、福井明美、吉田左貴子、高嶋秀介、大澤正男、風巻みどり、藤本蒂子、野口真理子、濱田すみ子、本多 玄、森田美由紀、石川一樹、細谷孝子、金藤伴成

配付資料

1. 第401回図書行政商議会議事要旨
2. 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について
 - 2-1 「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」第2期(平成24～27年度)に置ける整備の方針および財源計画について
 - 2-2 附属図書館長書簡
 - 2-3 部局回答票
 - 2-4 「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」について(現状と経緯)
3. 新図書館構想について(Web サイト掲載記事)
4. 駒場図書館運営委員会議事次第
5. 柏図書館運営委員会議事次第

<開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第401回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

古田委員長から、資料2-1の「全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備」第2期(平成24～27年度)における整備の方針および財源計画について」が、7月5日の科所長会議で全学的な了承が得られたことの報告があった。引き続き、基本方針の内容並びに6月14日、7月5日の科所長会議での審議経緯について次の通り説明があった。

基本方針全体としては、各年の財源を11.5億円とすることに加えて、大学図書館コンソーシア

ムの強化を通じ出版社に対し価格の低減交渉を粘り強く行うこととし、本学の財務構造に大きな変動がない限り、第2期の4年間基準分担額を固定することとした。また、5月26日の図書行政商議会で確認された部局分担金の「一律の基準」に関わる事項のうち全学レベルの適切な場で引き続き検討するとされた(1) 間接経費の取扱い、(2) 研究所の院生の取扱い、(3) 全国共同利用経費の問題のそれぞれについては、(1) は財務担当理事及び図書館担当理事と協議の上、部局分担金の算出基準の予算規模は大学運営費と外部資金(部局受入分)をもって算出し、その比重を4:1とすることに変更し、(2) は研究所の教員を指導教員とする大学院生については当初の研究所の構成員に算入するという方針を基本方針としつつ、研究科と研究所が合意した場合は研究科に算入することができることとし、(3) は第2期の計画における整備対象資料を共同利用型の研究においても活用しやすい環境を整えるという項目を入れることとした。

以上の説明を受けて、資料2-1については図書行政商議会としても確認された。併せて、古田委員長から、部局回答票の提出により、部局分担額、負担増緩和策の適用及び基金への協力についても該当部局すべてから確認された旨報告があった(一部部局については、後日提出・確認)。引き続き古田委員長から、附属図書館としての今後の課題として、第1点目は現行の全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備の基本方針の改訂、第2点目は電子ジャーナルのある冊子が全学共通経費から部局経費に移行することにより購読ゼロになる雑誌が出た場合の取扱いについてはサービス特別委員会での検討に付すこと、第3点目は整備対象の雑誌・データベース等の入替ルールについてサービス特別委員会の検討を経て今年度中に図書行政商議会として確認を行うこと、第4点目は全学共通経費及び基金の運用についての責任とチェック体制について明確にすること、の4点について検討に入りたい旨の発言があり、了承された。最後に、古田委員長から従来の全学共通経費に関して史料編纂所は負担対象外であったが、今回の制度では前向きに検討いただけることになったとの報告があった。

3. 報告事項

(1) 新図書館構想について

古田委員長から、資料3に基づき、新図書館の構想についてホームページを立ち上げ、附属図書館のホームページから見られるようにしたこと、また東京大学として概算要求をしているが、展望は非常に厳しいとの補足があった。

(2) 駒場図書館運営委員会について

茂出木教養学部等図書課長から資料4に基づき報告があった。

(3) 柏図書館運営委員会について

河野柏図書館長から資料5に基づき報告があった。

4. その他

古田委員長から次回の図書行政商議会は11月22日を予定しているが、冊子体の購入に関するサービス特別委員会での検討状況次第で、附属図書館運営委員会、臨時の図書行政商議会を開催することもあり得る旨の発言があった。

〈閉 会〉